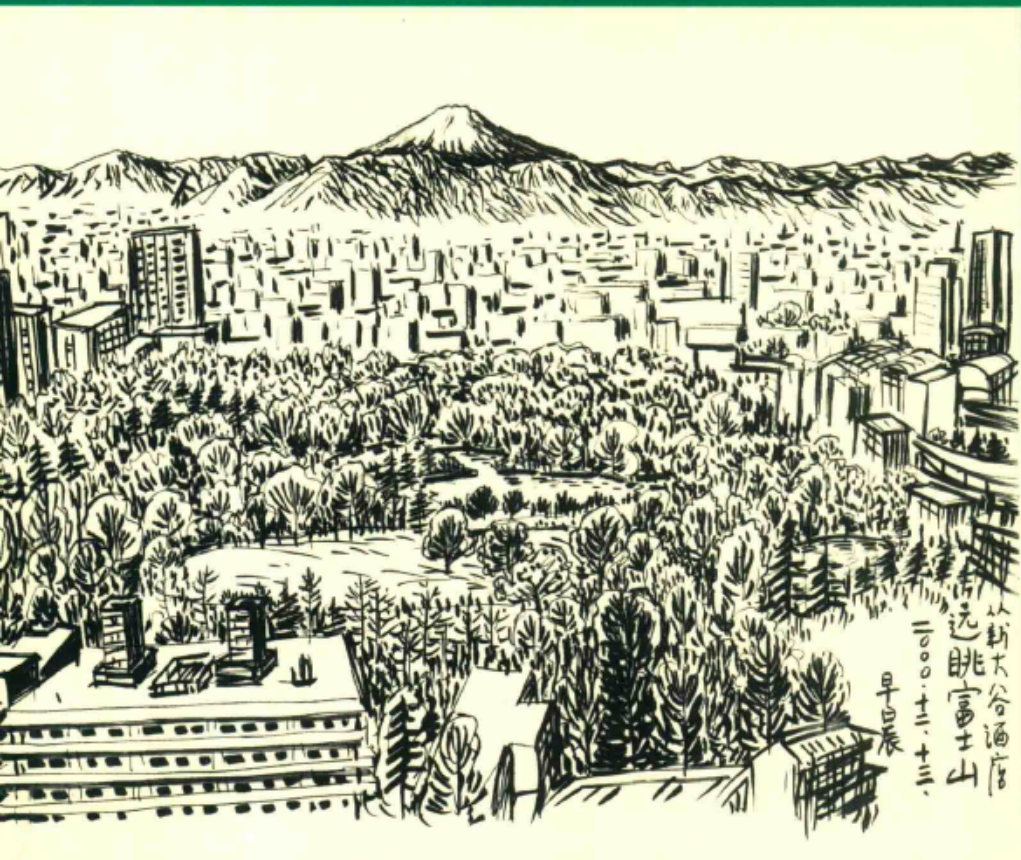


朱明德速写日记（第一辑）

新日速写



北京·文津出版社

朱明德速写日记（第一辑）

访日速写

北京·文津出版社

图书在版编目 (C I P) 数据

朱明德速写日记.第一二三四辑/朱明德绘. —北京: 文津出版社, 2002

ISBN 7-80554-421-2

I . 朱... II . 朱... III . 速写 - 作品集 - 中国 - 现代
IV . J224

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2002) 第 005776 号

朱明德速写日记 (第一二三四辑)

ZHUMINGDE SUXIERIJI

*

北京·文津出版社

(北京北三环中路6号)

网址: www.bph.con.cn

北京出版社出版集团总发行

北京瑞兴印刷有限公司印刷

*

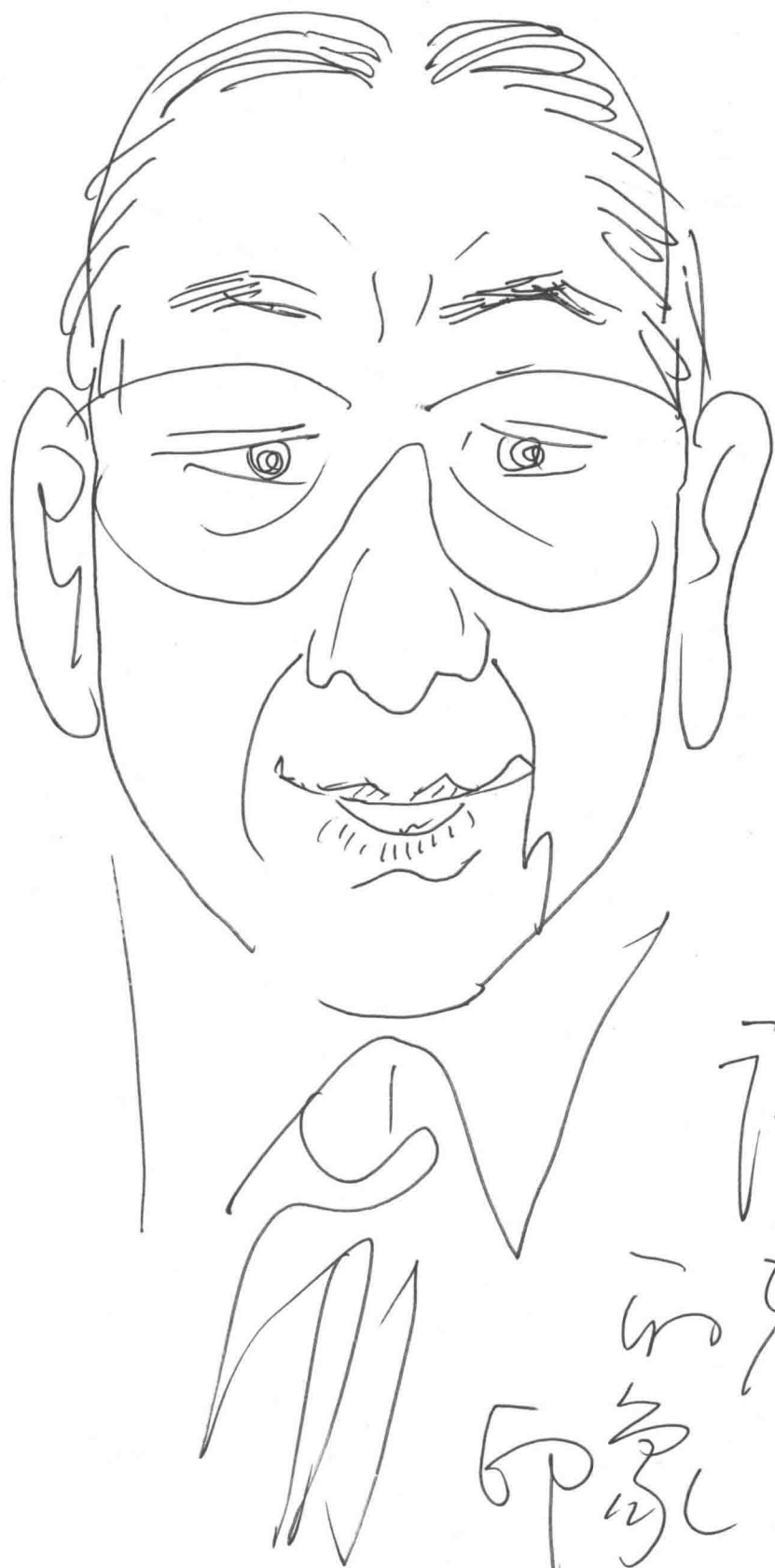
787 × 1092 12 开 13.5 印张

2002 年 2 月第 1 版 2002 年 2 月第 1 次印刷

印数: 2000 册

ISBN7-80554-421-2/J·46

全套总定价: 160.00 元



讲话时刻
的各位领导
印象 北京文苑
朱明德画

我想记住

(序)

生活是丰富多彩的，人们总有想记住的许多事。

2000年，我想记住的是：这一年我有幸被中共北京市委组织部派到中央党校16期中青班学习。将毕业时，中组部抽一部分学员组成“中国青年领导干部访日团”，我有幸成为其中的一名团员。这是我平生第一次出国。

我想记住访日感受。

2000年12月11日至20日。我们中央党校中青班的46名学员，参加了中国青年领导干部访日团，对日本国的东京、岛根、大阪、京都等地进行了参观考察。由于日方安排周到，同学们学习认真，时间虽短，我们的收获却很大。

一、了解了一些情况，思考了一些问题。听研修课是我们的重要访问内容。通过听日本国际总和研究所的冈本先生讲“亚洲的日中关系”、石原享一先生讲“支持日本的经济发展的文化”、田中直毅先生讲“于国际社会的日本的政治与经济”、稗田先生讲“日中关系”等讲座，我们直接了解了日本国制定经济、政治、外交政策的最根本原则，都是从国家利益考虑，着眼点和落脚点都是如何有利于日本的经济的发展、如何有利于日本国民收入的增长上。日本的智士们高度重视经济全球化的挑战，对于世界性的经济、科技、文化、军事诸多领域的竞争，充满忧患意识。他们认为美国第一重要，中国第二重要。对中国，因为我们的发展，他们才看重和赞誉，同时，也是因为我国经济的迅速发展，他们有疑虑、有担心、有提防。讲师们很友好、很坦率的介绍，相互间直接、真诚的交流，增强了解、理解。通过研修，引发我们思考的问题是：我们对于新世纪里日益激烈的经济、科技、文化、军事等领域的立体化竞争，有没有强烈的忧患意识？思想、物质、人才的准备足不足？经济全球化条件下的中国共产党人应当如何抓

住机遇，更好地带领人民建设富强、民主、文明的现代化社会主义祖国？如何为世界和平作贡献？

二、开阔了眼界，增长了知识。我们访问了日本野村总合研究所，这是一家民营的经济政治智囊团，属于新兴的智慧产业。成立12年来，不仅社会效益斐然，而且经济效益明显。他们的成功有三：一是顺应经济全球化大潮，抓住日本社会经济、政治发展中的重大战略问题和难点，深入研究，提出有超前意识和现实可行性的建议。二是研究方法比官办的研究机构灵活、深入、实际，并用高科技手段进行从量到质的准确性高的分析。三是按市场价值规律来规范所研究的业务，摸索出一条实现智慧知识经济价值的捷径。依据中国特色，我们可借鉴的是：第一，观念上要更新。要克服“主意、办法不值钱”的习惯性思维，树立“知识就是力量、智慧价值连城”的意识。第二，领导干部要在“多想出智慧”上下功夫。特别是在运用新知识作出战略性规划、全局性决策上下功夫。第三，要积极开发智慧产业，鼓励创新思维，提倡个性发展。承认个人智慧的价值，并用货币和社会荣誉双重奖励来重视培养、使用人才。

我们还参观了NTT DOKOMO总社、本田机器人公司、松下电器集团公司、大阪都市振兴中心、岛根县山区特殊养老院、农家花卉种植中心、新干线等。感受到日本国经济现代化建设成就的取得，是日本战后几代人艰苦创业的结果，我们中国人要学习日本人的勤奋、认真、执著精神；科技创新是日本发展经济的重要途径，我们应当认真学习他们的创新精神；以现代人的需求为目标，不断开发新产品，是日本人掌握经济竞争主动权的奥秘所在，我们应当向他们学习，努力创造更多的适应现代人需要的商品，参加国际市场竞争。

三、结识了许多朋友，增进了中日友好关系。日方热情接待，给我们许多互相交流的机会。我们通过研修、座谈、宴会、参观等各种场合积极主动地跟日本的政界、知识界、企业界，以及工作人员交谈，既虚心求教，又宣传我国的对外政策，表达中国人民对日本人民真诚友好的感情。我们还用漫画、肖像和书法的艺术形式传递友谊，得到日本政党领袖和各界朋友的热烈反响。同学们充分展示了改革开放的中国中青年领导干部的风采。日本国三党干事长，政府的

河野洋平外相亲切地和我们会见。在都、县、町、村和企业界，我们都结交了不少新朋友。日本国外务省和国际协力团的官员评价说：“中国青年领导干部不仅素质好，还有人情味，起到了日中友好使者的作用。”

四、两点建议：第一，我们应当积极同日本国际协力团以及相识的日本朋友保持联系，多做促进中日友好关系的实事。第二，今后要增加同日本企业界的交流往来。

我想记住这次访问时我内心的一些想法：中日两国是一衣带水的邻邦，近邻应当常来常往，才能加深了解和友谊。中日两国应当把和平与发展的大旗举得高高的。一要多信任，二要多合作。要信任，就必须牢记历史的教训。二次世界大战中，日本政府发动的侵华战争，给中日两国，特别中国人民带来深重的灾难。哲人说：“知耻近乎勇。”日本的政治家必须勇敢地正视历史，并坚决接受教训，才能坚固两国人民真正信任和友好的基础。有了真正的信任，经济、政治、科技、文化各方面的合作就是实实在在的，而不是浮浮飘飘的。正视历史，对我们中国也很重要，铭记世界上侵略者灭绝人性的暴行和罪恶，铭记住侵略战争给人类社会造成的种种倒退的悲剧，我们和我们的子子孙孙都要坚决地发誓：我们要使国强民富兵精，如果有谁敢来侵略我们，我们就用鲜血、生命和实力捍卫我们祖国的主权。但即使我们祖国富强了，我们也绝不做任何伤天害理和侵略掠夺他国的坏事。哲人说：“爱人如爱己，帮人如帮己，害人如害己。”希望邻国间要相互学习，相互帮助，相互促进，各自发扬本民族的优秀传统文化，并发挥国情优势，为世界和平和进步多作贡献。

我想记住我的日本朋友山口美江。她是一位家住神奈川相模原的58岁的老大姐。丈夫在日本外相河野洋平曾做事的神奈川县建设厅供职。山口1996年从《朝日新闻》上看到我区扶贫村爨底下村开发旅游的消息，就给村委会主任韩孟亮写信，很快我们建立起密切联系，她先后三次来北京门头沟参观爨底下村。这次我在东京时，这位大姐和丈夫两次专程从神奈川来东京看望我。在典型的日本小酒馆里，她和丈夫，还有清华大学常世民教授的儿子常桐、女儿常杪（均在日本留学）请我喝清酒，边喝边叙友情，说起爨底下村的缘分，说起相互了解、理解和有聚有散的感受，说起热心中日民间友好关系的已过世的常教授和健在的牛老师，大家眼睛里都溢

出了泪花。此情此景，实难忘怀。

我想记住很多事情，主要是我珍视美好的经历和感受。除了心里记，除了拍一些照片，我还画了上百幅速写。我画的速写离专业水平或许很远，但我毕竟亲手记下了瞬间的独特感受。为了我想记住的日本之行，就把一部分速写不加雕琢结集出版，以此献给中国青年领导访日团所有的领导、同学，献给我见到的每一位日本朋友，献给中日邦交正常化30周年。

我还想记住2001年7月，中组部的领导同志在会见日本青年领导访华团成员之后，对我们五位去年访日团的中国同志语重心长的叮嘱：“发展中日友好关系，你们要多做工作啊！”这嘱托，份量不轻。我想，从小事做起，从一件一件事做起吧，我们不应辜负党的三代领导集体关于发展中日友好关系的共同期望！

感谢我的新疆战友王世良大校、高传信大夫以及赵志强小弟，他们为出版这本书作出至关重要的贡献。感谢我的学友韩亨林为这本书题写书名。感谢马洁同志所做的工作。感谢中央党校四支部老师和四组同学给我这次难得的出国机会。如今，天各一方，我常常想念他们：袁梦琪、胡抗美、张家盟、刘德福、刘远坤、白马赤林、赵洁、苏泽林、翟鲁宁。我知道他们也想念我。

希望看到这本书的中日朋友们都能会心一笑。

朱明德

2001年12月29日

しっかり覚えたい

(序文)

生活は豊富で多彩であり、人間が覚えたいこともたくさんあります。

私が覚えたいことは下記のようなものです。2000年私は中国共産党北京市委員会組織部に中央党校第16期の中青年クラスに派遣され、そこで勉強することになりました。卒業する前、中国共産党組織部は一部の研修生を選び出して「中国青年幹部訪日団」を組み立てました。幸いなことに、私はその一員になりました。これも私にとっては初めての外遊でした。

私は訪日の感想をしっかり覚えたいです。(第4組を代表して書いたまとめです。)

訪日感想

2000年12月11日から20日まで、私たち中央党校中青年クラスの46人の研修生は中国青年幹部訪日団に参加して、日本の東京、島根、大阪、京都などの各地を見学しました。日本側の行き届いた手配があって、その上クラスメートたちも一生懸命勉強したので、時間が短くても非常にいい勉強になりました。

第一、いろいろな状況を知って、いくつかの質問を考えました。研修授業を受けるのは主な訪問内容でした。日本国際総合研究所の岡本先生の「アジアにおける日中関係」、石原享一先生の「日本経済の発展を支える文化」、田中直毅先生の「国際社会における日本の政治と経済」、槇田先生の「日中関係」などの授業を受けることを通して、わたしたちは日本政府が経済、政治と外交政策を制定するもっとも根本的な原則が分かりました。すべて国家の利益から考え、どのように日本経済の発展と国民収入の増加に利することに着眼点と立脚点を置くのは日本の根本的な原則です。日本の知恵者たちは非常に経済グローバル化の挑戦を重視し、経済、科学技術、文化、軍事など各分野における世界的な競争に対してかなりの憂患意識を持っています。彼らはアメリカが一番重要であり、中国はその次だと思っています。中国の発展を重視し、称えると同時に、その経済のはやい発展にも心配し、用心します。先生がたの友好で、率直な紹介と、お互いの誠意ある直接的な交流により、私たちはさらに理解を強めました。研修を通して、私たちは次のようなことを考えました。例えば、私たちは新世紀の日一日と激しくなってくる経済、科学技術、文化、軍事など各分野の立体化競争に対して、強い憂患意識があるかどうか、思想、物質と人材の準備が足りるかどうか、または経済

グローバル化という条件のもとで、中国共産党がどのようにチャンスをつかんで、よりよく中国人民を率いて、豊かな、民主的な、文明な現代化社会主義祖国を建設するか、どのように世界平和のために貢献するか、などということです。

第二、視野を広めて、知識を豊かにしました。私たちは日本野村総合研究所を見学しました。これは民営の経済政治ブレーン・トラスト・シンク・タンクで、新興の知恵産業である研究所です。成立12年以来、社会効果が輝かしいばかりでなく、経済効果も明らかです。彼らの成功の原因は三つあります。第一は経済グローバル化の潮流に順応し、日本社会の経済政治発展の途上で大切な戦略問題と難点をつかんで、深く研究して、進んだ意識と実行可能性のある提案を提出したことです。第二は、研究方法は国営の研究機構より融通性があり、深くて実用的で、そして高度な科学技術の手段で量から質へと正確性の高い分析を行うことです。第三は市場の価値法則によって、研究業務を計画し、知恵知識の経済価値を実現する近道を探し出したことです。中国の特色によって、参考になれるものも三つあると思います。まず、観念を変えなければ行けなません。「考えと方法は価値がない」というこれまでの考え方を換え、「知識は力、知恵はたいへん貴重なものだ」という意識をうちたてなければなりません。次に、指導者がたは「多く考えれば知恵が出る」ということに工夫しなければならないです。特に新しい知識を運用して、戦略的な計画と統一的な決定を出すように工夫しなければならないです。また、積極的に知恵産業の開発、創新観念の奨励、個性発展の提唱とのことに力を入れて、そして個人の知恵価値を認めて、貨幣と社会栄誉の二重奨励で人材を育成、用いるべきです。

私たちはまたNTT DOKOMO 本部、本田ロボット会社、松下電気会社、大阪都市振興センター、島根県山区の特殊老人ホーム、農家花草栽培センター、新幹線などを見学しました。日本の経済現代化の建設成果の取得は戦後日本の何世代の人々が刻苦創業した結果であり、科学技術の創新はその経済発展の重要な道であると痛切に感じました。われわれ中国人は日本人の勤勉で、まじめな、いつまでも弛まない精神と、その創新精神をまじめに学ばなければならないと思います。そして、現代人の需要を目標として、どんどん新しい製品を開発するという日本人の経済競争の主導権を握るいわくを学んで、できるだけ現代人の需要に応じるもっとたくさんの商品を造り出して、国際市場の競争に参加すべきです。

第三、たくさんの友たちを作って、中日友好関係を促進しました。日本側の情熱な招待は多くの交流チャンスを与えてくださいました。私たちは研修、座談、宴会、見学などの場合を通して、進んで積極的に日本の政界、知識界、企業界及び従業員と話し合っ、謙虚な気持ちで教えを請うと同時に、我が国の対外政策を宣伝して、日本人民に対する中国人民の誠実的で、友好な感情を表明しました。また漫画、肖像と書道などの芸術形式で友情を伝達したり、日本政党の指導者がたと各界の友人たちの熱烈な反響を呼んで、改革

開放中の中国中青年幹部の風采を十分に現わしました。私たちは日本の三つの政党の幹事長と政府の河野洋平外相に親切に会見されたばかりでなく、都、県、町、村と企業界でも、たくさんの友たちを作りました。日本外務省と国際協力団の役人達は、「中国青年幹部は素質が高いばかりでなく、人情味にも富んでいて、日中友好の使者の役割を果たした」、と評価しました。

第四、二つの提案があります。(1) 私たちは積極的に日本の国際協力団及び日本の友たちと連絡しつつ、中日友好関係を促進する具体的なことを多くやるべきです。(2) 今後、日本の企業界との交流と行き来をも増やすべきです。

今度の訪問で、心の底から覚えたいことがいろいろあります。中日両国は一衣帯水の隣国であり、お互いの理解と友情を深めるためにしょっちゅう行き来することが必要です。平和と発展に基いて、信頼と合作を大切にすべきだと思います。信頼は歴史の教訓をしっかり覚えることです。第二次世界大戦、日本政府が起こした侵略戦争は中日両国、特に中国人民に大きな災難を齎しました。中国には「悔い改めは勇気だ」という言葉があります。お互いにほんとうの信頼と友好を固めるために、日本の政治家は歴史を正視し、痛ましく教訓を汲み取りしなければなりません。そういう土台があれば、経済・政治・科学・文化など各方面の合作はしっかりものになります。歴史に直面するのは、われわれ中国人にとっても重要なことです。侵略者の残酷性、侵略戦争により人間社会の後退などの悲劇をも、深く心に刻まなければならないと思います。『国が富み、人民の力と軍事力が強くなるようにしろ。誰か侵略に来れば、鮮血と生命をあげ、実力を持って祖国の主権を守ろう。その一方、国が富んでも、極悪非道なことや侵略なんかの悪いことは絶対しないよう』、とわれわれ及びわれわれの子孫はためらいがなくそう誓います。「他人を自分のように愛する」、「人を害せば自身を害する」という中国の諺のとおり、隣国の間にはお互いに助け合い、学びあい、そして促しあいして、本民族の優れた品質と国情優勢を発揮して、世界の平和と進歩のために力を尽くすよう願っております。

またしっかり覚えたいのは私の日本人の友達山口美江さんです。彼女は神奈川相模原に住んだ58歳のお姉さんです。御主人は日本外相河野洋平が昔勤めていた神奈川県建設庁に就職しています。山口さんは1996年朝日新聞で、中国貧困家庭援助村鑾底下村の旅行開発についてのニュースを読んだと、鑾底下村の韓孟亮主任に手紙を書きました。さっそく私たちと密接な繋がりを取り、三回も北京門頭溝鑾底下村に来ました。今度、私が東京にいたとき、この姉さんと御主人は二回もわざわざ神奈川から東京へ見舞いに来ました。典型的な日本酒屋で、夫婦二人と清華大学の常世民教授の息子常桐、娘常杪（日本に留学）と一緒に清酒のご馳走をして下さいました。飲みながら、鑾底下村のご縁とお互いの理解と離合集散の感触、中日

民間友好関係にいろいろ工夫をしてもうなくなった常世民教授とまだ健在の牛先生の話をして、みんなの目に涙が溢れてきました。こういうことは永遠に忘れられません。

いろいろなことを覚えたいのは、私が美しい体験と感覚を珍重するからです。そんなことについて、しっかり心に覚え、また写真を撮ったほか、百幅以上のスケッチもできました。まだまだアマチュアレベルかもしれませんが、自分の手で瞬間の感じを描きだしました。日本の旅を忘れないように、その一部を飾りもなくまとめて出版しました。これによって、中国青年幹部訪日団の指導者がた、クラスメートル、日本で会ったすべての日本人の知り合い、また、中日国交正常化30周年にささげたいのです。

2001年7月、中国共産党組織部の指導者がたが日本青年幹部訪中団のメンバーを会見した後、私たちに「中日友好関係を発展させるために、あなたたちはもっと力を入れて下さい」と懇ろに言い付けたことです。三代の中央指導者集団が中日友好関係を発展させるという共同の期待に背かないように、小さいことから、一つ一つのことから、着実にしていこうと私は思います。

なお、出版の事務一切に大変援助をいただいた新疆戦友の王世良高級将校、医者の高传信さん、友人の趙志强さんに、感謝の気持ちを表します。また、この本に名付けてくださった学友の韩亨林さん、いろいろしてくださった馬潔さん、今度の有り難い訪日チャンスを下さった中央党校四支部第四組の先生がたとクラスメートルに、深く感謝の意を表する次第であります。今、私とそれぞれ遠く離ればなれになった袁夢琪、胡抗美、張家盟、劉徳福、劉遠坤、白馬赤林、趙潔、蘇沢林、翟魯寧らのことをときどき思い出されます。みんなもきっと私のことを懐かしく思っています。

最後、この本を読んだ中日両国の友人たちがみんな意を悟って笑うことができるように、心から祈っております。

以上

朱明德

2001年12月29日

中国青年领导干部访日团名单

团 长:	孙晓群	Sun Xiao Qun	中共中央组织部副部长
副团长:	孙庆聚	Sun Qing Ju	中共中央党校办公厅主任
秘书长:	高世琦	Gao Shi Qi	中共中央组织部干部教育局局长
团 员:			
	黄建国	Huang Jian Guo	云南省西双版纳州州委书记
	朱孝清	Zhu Xiao Qing	浙江省检察院副检察长
	曲 红	Qu Hong	国家航天局人事教育司副司长
	王守智	Wang Shou Zhi	国家测绘局行业管理司司长
	矫梅燕	Jiao Mei Yan	安徽省气象局副局长
	陈松林	Chen Song Lin	安徽省铜陵市市长
	武虹剑	Wu Hong Jian	辽宁团省委书记
	蔡 宁	Cai Ning	甘肃省检察院副检察长
	马顺清	Ma Shun Qing	青海省西宁市市委副书记
	黄素英	Huang Su Ying (女)	江西省司法厅厅长
	毛超峰	Mao Chao Feng	中国民航总局河南管理局局长
	韩亨林	Han Heng Lin	监察部干部室副主任
	袁 周	Yuan Zhou	贵州省铜仁地区行署专员
	史久武	Shi Jiu Wu	浙江省萧山市市委书记
	李长进	Li Chang Jin	中铁二局集团有限公司董事长
	梁 颖	Liang Ying	广西壮族自治区团委书记
	黄康生	Huang Kang Sheng	贵州省黔西南州州长
	谢和平	Xie He Ping	中国矿业大学校长
	张 军	Zhang Jun	最高人民法院刑二庭厅长
	张绪胜	Zhang Xu Sheng	甘肃省统计局局长
	田学仁	Tian Xue Ren	吉林省吉林市市委书记
	吕维峰	Lu Wei Feng	黑龙江省农垦局局长

夏振贵	Xia Zheng Gui	山西省忻州地委副书记
赵 慧	Zhao Hui (女)	中央人民广播电台副台长
黄兰发	Huang Lan Fa	中央政府驻香港联络办广东联络部副主任
朱明德	Zhu Ming De	北京市门头沟区区委副书记、政协主席
杭桂林	Hang Gui Lin	内蒙古自治区新闻出版局局长
张昌尔	Zhang Chang Er	湖北省孝感市市委书记
郭树人	Guo Shu Ren	湖南省张家界市市委副书记
成建军	Cheng Jian Jun	中科院上海光机所党委书记
武树和	Wu Shu He	山西太原化工集团公司总经理、副董事长
尧斯丹	Yao Si Dan	四川团省委书记
杨应楠	Yang Ying Nan	云南省昭通地委书记
贡保甲	Gong Bao Jia	甘肃省甘南州州长
余华青	Yu Hua Qing	陕西省社科院院长
曾 礼	Zeng Li	重庆市委党校副校长
戈 明	Ge Ming	青海日报社副总编
夏朝华	Xia Chao Hua	中国文联人事部副主任
龚绍林	Gong Shao Lin	江西省委政策研究室副主任
安思国	An Si Guo	新疆维吾尔自治区广播电视厅副厅长
牛治富	Niu Zhi Fu	西藏自治区委党校副校长

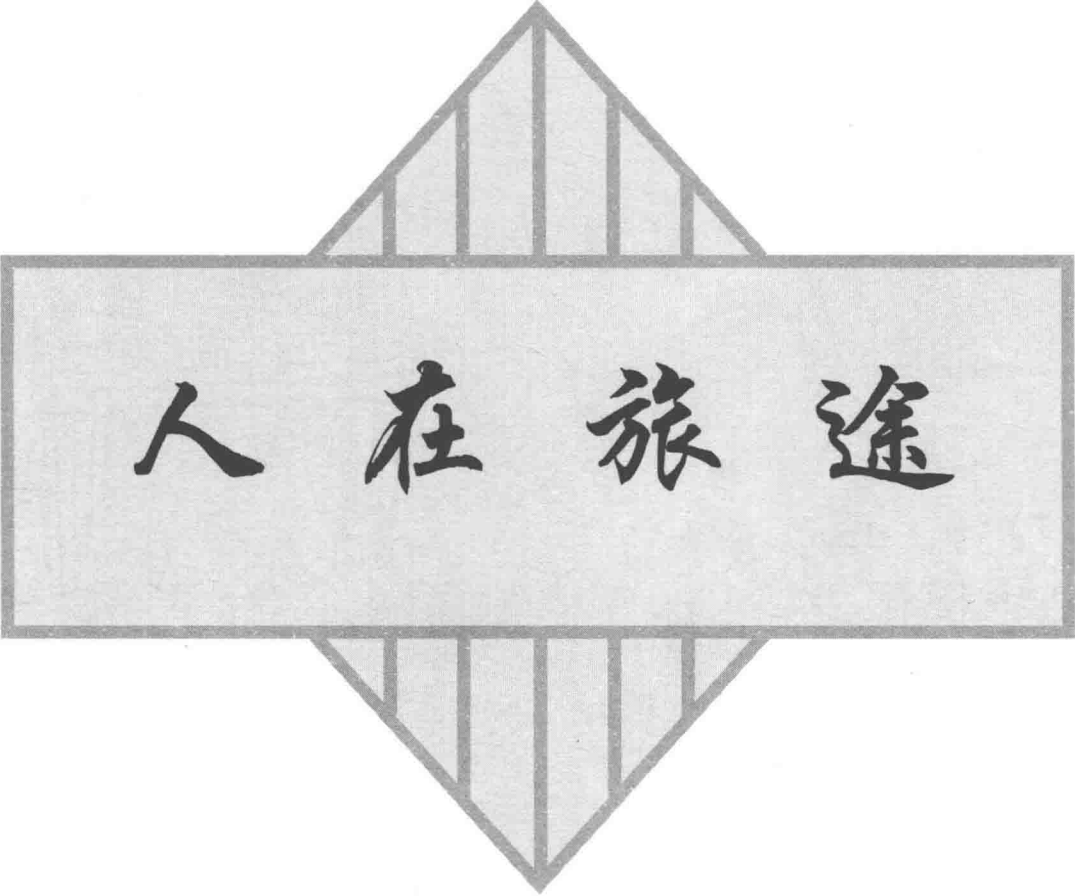
工作人员:

肖勤福	Xiao Qin Fu	中共中央党校培训部副主任
睦月华	Sui Yue Hua (女)	中共中央党校培训部处长
刘见明	Liu Jian Ming	中共中央组织部干部教育局副处长
聂 佳	Nie Jia (女)	外交部亚洲司随员 (翻译)
卫文秀	Wei Wen Xiu	中共中央组织部秘书

(注: 名单中部分同志现已变动工作岗位。)

目 录

我想记住（序）	1
人在旅途	1
东京掠影	17
相逢有缘	31
坦诚交流	63
富士揽胜	91
难忘岛根	105
京都记事	125
关于明德的速写日记	张峰 143



人在旅途

